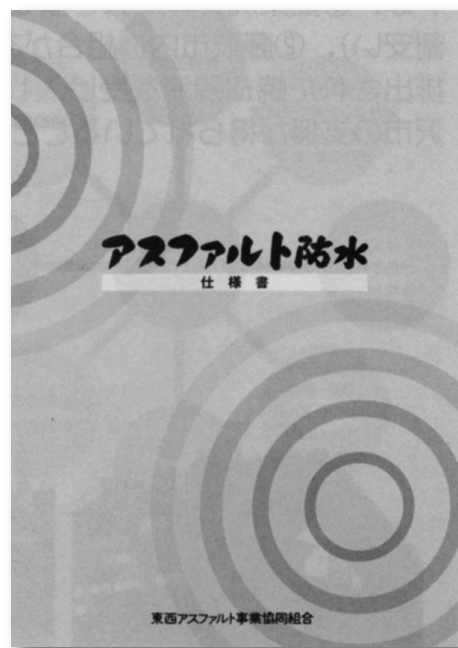


[共同検査]

生産性の向上に結び付いた 共同検査体制

組 合 名	東西アスファルト事業協同組合
住 所	〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-11-13
電話番号/FAX	03-5821-7720 / 03-3864-7555
設 立	昭和38年5月
出 資 金	831,840千円
主な業種	アスファルト防水工事業
組 合 員	132名
ホームページ	http:// www.tozai-as.or.jp



組合員の施工工事を仕様、材料、技術そして品質管理まで一貫してサポート。
組合員企業へのサービス提供の基本を構築したことで生産性の向上に貢献

1 背景と目的

昭和30年代の当業界は、都市部でも工事量は少なく、無理をした受注競争が横行していた。しかし、施工工事の品質を低下させていることに疑問視する工事店が、品質がよく、施工を保証するシステムが必要との共通した認識で組合を結成。防水工事店と資材メーカーが一体となった「仕様書」作りがスタートした。まさに、時代に先駆け、責任施工体制を実施するとともに、組合員の施工技術と生産性の向上を目指し組合事業を実施している。

2 施設の内容

事業面では、施工能力の均一化と品質保証を原点に、「適切な設計」「品質の良い材料」「巧みな施工」をモットーに着実な事業実績を重ねている。この実績の舞台裏には、組合員企業の従業員の資質の向上や技術の向上（防水技能者養成所）の効果もあるが、防水工事の受注あっせん事業を通じ、施工技術の組合員同士の相互研鑽もある。近年は、技術面だけでなく多様な要求に応える資材の開発にも対応でき、多方面の協力を得た資材の開発にも努めてきた。一方、組合員は、組合仕様の工事施工に頼らず、組合員独自の受注と施工が見られるので、組合の委員会をはじめ組合員の参画と意識の向上が問われている。

3 成 果

実績を重ね、品質の確保が効果をあげているので、組合員企業の信用力が増大している。企業にとって、組合からの工事の受注が減少し、自社工事が増大している中、今後の組織の存在が問われている。時代が成長期にあっては、増大する工事量を効率よく処理し、自社の生産性向上にも努めることができたが、今後、予想されている「環境対応型防水」や「廃棄物対策」等社会問題への対応は、組合員として対処できるか不安が大きい。組合の重要性を認識し、改めて共同対応を検討すべきである。

(全国中央会「平成19年度組合資料集加工事業報告書」より)